

アジア国際法学会日本協会 アジア法学会 研究大会

— 2016年6月26日(日) 東京大学 駒場Iキャンパス —

2015年末に「ASEAN共同体」が設置され、今後の東南アジア地域における地域統合について、国内法的、国際法的両面から興味深い論点が提示されることが予想されます。ASEAN統合の総論的把握を行ったうえで、とくに注目され、多方面に影響を及ぼすと考えられている経済共同体に焦点を当て、地域統合の経済社会的側面の研究を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

【午前の部: 10時00分～12時30分】

座長 吾郷真一 (立命館大学・教授)

報告者

(1) Sakda Thanitcul (チュラーロンコーン大学・教授)

"The Past, Present and Future of International Arbitration in Thailand"

(2) 安田信之 (名古屋大学・名誉教授)

「ASEAN法をどう理解するか? 地母慣習法・国家法・超国家広域法」

使用言語 Sakda教授報告は英語(和訳資料配付)、
安田教授報告および両教授による質疑応答は日本語

【午後の部: 14時30分～18時00分】

座長 佐藤安信 (東京大学・教授)

報告者

(1) 小松岳志 (森・濱田松本法律事務所シンガポールオフィス共同代表・弁護士)

「アセアン地域の法務と日本法律家の役割」

(2) 金子由芳 (神戸大学・教授)

「ASEAN経済共同体における外資法制—国内法体系との矛盾」

(3) 山崎公士 (神奈川大学・教授)

「アセアン経済統合と人権」

使用言語 日本語

・ アジア国際法学会日本協会総会 (12時30分～13時00分)

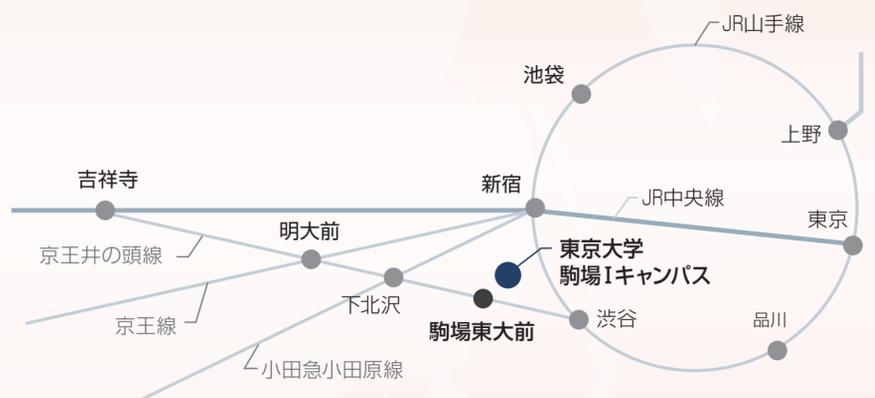
・ 昼食 (13時00分～14時30分)

【18時20分～20時20分】

・ レセプション (18号館4階オープンスペース)

開催日時・開催会場

- 日時: 2016年6月26日(日) 10時～18時
- 会場: 東京大学駒場Iキャンパス 18号館ホール
(〒153-8902 目黒区駒場3-8-1)



駒場Iキャンパスへのアクセス

- ・ JR山手線等・渋谷駅、小田急線・下北沢駅、京王線・明大前駅より井の頭線に乗り換え、駒場東大前駅で下車。
- ・ 駅より徒歩0分。会場へは東大入口より正門をご利用ください。
- ・ 構内への車両の乗り入れ及び駐車はご遠慮ください。

ご案内

(1) 登録方法

登録方法: アジア国際法学会日本協会会員およびアジア法学会会員の方は、それぞれの学会を通してご登録ください。会員でない方は、日本協会ホームページより6月19日(日)までにご登録ください。ホームページでの登録受付は、5月上旬に開始します (<http://asiansil-jp.org/>)。

(2) 資料代

資料代: アジア国際法学会日本協会会員およびアジア法学会会員でない方は、会場にて資料代1000円を申し受けます。



SPONSORS

ANDERSON MÖRI & TOMOTSUNE
アンダーソン・毛利・友常法律事務所

森・濱田松本法律事務所
MORI HAMADA & MATSUMOTO

弁護士法人 大江橋法律事務所
OH-EBASHI LPC & PARTNERS

長島・大野・常松 法律事務所
NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU

TMI 総合法律事務所
TMI ASSOCIATES

URYU & ITOGA

弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所

古賀総合法律事務所
KOGA & PARTNERS

Ushijima & Partners

北浜法律事務所
KITAHAMA PARTNERS

中央総合法律事務所
CHUO PARTNERS

中本総合法律事務所
NAKAMOTO & PARTNERS

三宅・今井・池田法律事務所

桃尾・松尾・難波法律事務所
MOMO-O, MATSUO & NAMBA